

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ポニーナ幕張本郷			
○保護者評価実施期間	令和8年7月6日		～	令和8年8月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30人	(回答者数)	24人
○従業者評価実施期間	令和8年7月6日		～	令和8年8月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数)	9人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年9月2日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様（児童）が安心感を持って通所し、事業所内で楽しく過ごせている点。また、支援の内容に満足していただけている点。	その日に利用される利用者様（児童）の近況を職員間で情報共有し、楽しく安心して過ごせる環境を提供しています。利用者様（児童）の気持ちの言語化を促し、成長に繋げていけるように支援しています。	トラブルの対処法や、感情の言語化、相手の目線等、社会性やコミュニケーション能力の向上に繋がるような支援に取り組んでいます。
2	利用者様（児童）の特性に応じた専門性のある支援を提供している点。集団療育のプログラムやイベントの内容もそれに準じた形で日々企画している点。	職員間で話し合い、集団療育のプログラムやイベントの内容の相談、立案、難易度の調整を行っています。過去に実施したプログラム、イベント時の利用者様（児童）の反応の振り返りを行い、充実したプログラムにしていくように取り組んでいます。	季節のイベントを意識したプログラムを実施、製作物を持ち帰ったり、事業所に飾り付けを行うことによって達成感を得られるように取り組んでいます。
3	個人情報の取扱いに留意しつつ、アプリやメッセージを通じて利用者様（児童）、保護者様との意思の疎通や情報伝達をしている点。	サービス提供記録簿に文章だけでは伝わりづらい事業所での様子を画像も添付することで、より保護者様に伝えられるように工夫しています。	直接お話しする機会の少ない保護者様もいるので、事業所での利用者様（児童）の様子が少しでも伝わるように、記録の文章、画像のチェックを入念にしています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子どもの交流もなく、父母の会や保護者会の開催もなく、地域に開かれた事業運営を図れていない点。	地域で開催するイベントについての情報に乏しく、参加出来る機会を逸していることが要因と考えられます。	地域でのイベントの情報を細かくチェックし、参加人数や条件を調整しながら、交流する機会を作る取り組みをしていきたいと考えております。
2	非常災害発生時の訓練、事故防止マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等の保護者様への周知、説明が不十分な点。	訓練を行った際の報告、周知が保護者様に伝わるように出来ていないことが要因と考えられます。	保護者様に訓練した内容が伝わるように、ホームページで発信したり、手紙を入れたりする取り組みをしています。
3	事業所内の発達支援室のスペースが狭い為、活動をする際に窮屈に感じたり、内容を制限される時がある点。	テーブルや椅子、おもちゃや備品が占めるスペースが多く、実際の動けるスペースが小さく感じる事が考えられる要因です。	収納スペースの増設、使用していない物品の処分、限られた空間の有効活用出来るように取り組んでいます。